

10

口
16
78



◎「日本と韓国との、長い交流の歴史がふり返つてみると、日本は驚くばかりで与えることが少な過ぎた、のではないでしようか。」という。

大正十五年、旧軍大卒と同時
に朝鮮総督府へ。そして金羅南

道知事として業務を始めるまで二十年間、露韓時代のほとんどを、韓国の人々とともに過ごしてきた。が、その間に体験した特高保安課長だったその話。「個人は隠したがる経歴ですが、私の場合かえって韓国の人

八木信雄



戦没韓国人の遺骨返還に尽力ト

東京

49.12.27

朝刊

戦時体制の分断だけでなく、精神的な交流が中心にならなければ」と、強調する。

朝鮮半島を統治して日本に伝えられた、さまざまな韓国民間文化。特に四百年前、李朝に仕えた大韓学者李退溪の思想は、朝鮮征伐の日本武士によって持ち帰られ、倫理的な君臣関係となり、尊王思想となって「明治維新の起爆剤になったんです。」という。

たが、日常をたぐれば残酷な苦しみ、不当な差別に泣いている。何が彼らの独立心を刺激しているか——を教えられる、貴重な機会になりました。

◎「いま、韓国挺身隊の同志会など韓国の諸団体と協力して、何があろうと待たず遺族の方にお話しした。い」と、口を離すの途中である。

「二年前、二百四十六名が遺骨の行事もななく、ひっそりと韓国へ。去る十九日にも九百十一柱が、初めて送る側、迎える側で盛大な歓迎があった。」と、うれしげな表情。

◎「これからの日韓関係は、余り多すぎです。」日韓文化協

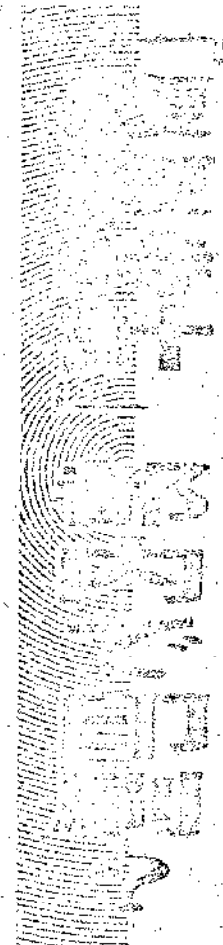
日南南運

昭和十一年四月

大坂の破産

破産、破産の次第と申すは、破産手続から入る。まず第一、破産の申請、公法破産は、三、破産の申請、債権者破産、公法破産は、二、破産の申請、債権者破産、公法破産は、一、破産の申請、債権者破産、公法破産は、

破産、破産の次第と申すは、破産手続から入る。まず第一、破産の申請、公法破産は、三、破産の申請、債権者破産、公法破産は、二、破産の申請、債権者破産、公法破産は、一、破産の申請、債権者破産、公法破産は、



破産手続に對し關心

破産 破産の申請、債権者破産、公法破産は、三、破産の申請、債権者破産、公法破産は、二、破産の申請、債権者破産、公法破産は、一、破産の申請、債権者破産、公法破産は、

破産 破産の申請、債権者破産、公法破産は、三、破産の申請、債権者破産、公法破産は、二、破産の申請、債権者破産、公法破産は、一、破産の申請、債権者破産、公法破産は、

破産 破産の申請、債権者破産、公法破産は、三、破産の申請、債権者破産、公法破産は、二、破産の申請、債権者破産、公法破産は、一、破産の申請、債権者破産、公法破産は、

破産 破産の申請、債権者破産、公法破産は、三、破産の申請、債権者破産、公法破産は、二、破産の申請、債権者破産、公法破産は、一、破産の申請、債権者破産、公法破産は、

破産 破産の申請、債権者破産、公法破産は、三、破産の申請、債権者破産、公法破産は、二、破産の申請、債権者破産、公法破産は、一、破産の申請、債権者破産、公法破産は、

破産手続に對し關心
破産手続に對し關心
破産手続に對し關心

49.12.1

電話二〇一又は
三三〇四〇一
三三〇四〇二

レール交換を進行

破産手続に對し關心
破産手続に對し關心
破産手続に對し關心

SECRET

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

CONFIDENTIAL

韓国政府要人ら歓迎 果した日本民間人の友情 現地ルポ

韓国政府要人ら歓迎

果した日本民間人の友情

去る十一月十一日佐々町行った。竹下、末岡両氏は中央公民館で韓国人戦時殉難者遺骨を祖国に送り還す最後の慰霊祭が行われたが、日本民間人らが、韓国にその遺骨と共に水南市まで送って韓国では大きな反響を呼び、末岡秀次氏などは水南市名譽市民の称号までも贈られる程の感激を受けている。

十二月福淵を出発した送還者一行は十五日水南市到着慰霊塔除幕式と納骨式に参例十七日に帰着した。この間、金羅南道、光州において光州市長の出迎を受け、花輪などの贈呈を受け、歓迎を受けた。光州より水南市の新設高速道路を昼スピードで走り続けた。水南市に到着した夜は同市の実業団より、料亭で大歓迎を受けた。

翌朝、市役所で、市要人を合せ数十名から歓迎を受ける。この日は、消防車、救急車、時計などの目録贈呈をつた。

菊本町長の話

菊本町長は韓国訪問を次のように語っている。光州飛行場に水南市長一行の出迎を受け、私は水南市長と公用車に同乗、完成した高速道路をつつ走つた。市長の権限は、道の権限と同様で絶対的なもので、前方の車などは、緊急サイレンを鳴らせば、すばやく、回避するといった状況であった。

本市での歓迎は大変なものであった。韓国の要人も日本には総べて、おかれてはいるが、十年後には日本を追い越して見ると意気込んでいた。特に教育の力の入れ方は大変なもので、国を愛する心を主軸として、国勢を伸ばしてゆくというところ、この教育によつて育つた人が早くも国の要人として活

が続けられていると云う。親善交流の潤滑油ともなれば幸せです。遺骨送還によつて今後、国交も深くならんことを祈念します。水南市長、金東石氏より次のような感謝の言葉が述べられていた。

竹下海集氏発起により末岡協賛会長、長壽居留民団長外、日本の方々の人類愛をもつて、かくも丁寧に同胞の遺骨を無事送還されたいとの要望もあつて、近いと、聞いていたが、近くその計画等についても、関係者と協議したい。

佐々町、佐々小学校(校長福水忠氏)では早くから水南市立竜洞国民学校との作品交換などを行つており、学校も仲よし、学校の奨励を結んで、との話もあつて居る。

佐々町が結ぼうとしていた二回に亘り防空撤退訓練の韓国姉妹都市が国際的な

「気の毒かなア」と言つてくれた。警察署に上りとは思えぬ温厚な徳島さんの顔を、今でも時々思い出す。徳島さんは既に学校を去つたが、つじは毎年味気を感じるであらう。

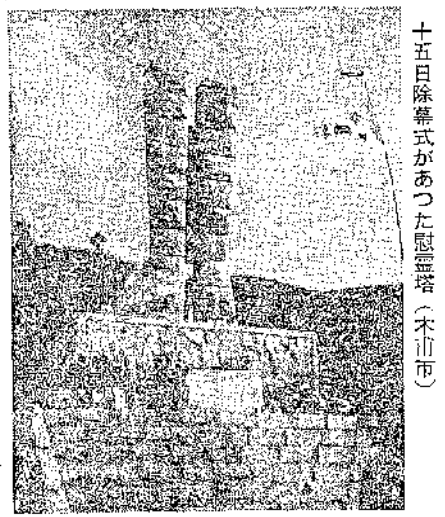
三菱鉄業の大親社長の快諾と大口献金が口火に、株鳥、日鉄を始め山下多くの浄財と協賛が寄せられ、同に於ける除幕式送還、数ヶ月の短期日でしたが、日韓人結合した行動は、隣人で無く祖先は同じだと感じました。

釜山港に、固からも、直知事、水南市長始め数十万人のお出迎は唯々恐縮の語に尽きる思いでした。

特に、佐世保社市のお配慮に依る、消防車、救急車の寄贈と、池村消防局長の寄贈と、この車で一人でも人命が助かるならと衷意を二人派遣して頂いたこと、韓国側の感動は一人でも、水南市長は涙を流すまでおられました。二百四十柱の御霊が、ふる里の地で少しでも、安らかに眠つて頂ければ、………事にしに足らぬこの運動は之に勝る喜びはありません。

末岡社長は語る

長年に屈辱されておられる二千五百人の韓国民同胞の方々の、悲願を成す日本人が、協力したことは夢にも思えておりません。むしろ私達が主催し韓国人の方々か



十五日除幕式があつた慰霊塔(水南市)



末岡社長は語る

み霊!! とこしえに古里に眼れ

遺骨28年ぶり韓国へ

竹下壽雄さんの熱意実る



(写真は竹下壽雄氏)

厳な人間は一個だに存在し行が始まった。遺骨探しに無い。さりとて当時府鉄屋なかつた。動物のそれであつた。こうして多くの韓国人は故郷・韓国の父を母を、妻と子に思慕の情を馳せながらわびしく死んで行つた。

(江迎) 戦時中「祖国日本の為」……の美名の下に韓半島から甘藷をもつて拉致され渡日した多くの韓国人及び在日韓国人の一部は、東北、西彼などの炭鉱で過大な労働を強いられた。そこは砲火なき戦場であつた。飢えと強制労働、弾丸(タマ)こそ飛んで来なかつたが、いつ死が訪れるかも知れぬ不安と泥沼の世界であつた。同胞としての取扱ひではない。そこには尊

あゝの悪夢の日から二十数年。こうして寝れ、淋しく異国・日本の地に眠る韓国人の遺骨を何んとかして祖国に連れ帰らねようと思ひ立つた人がいる。北松佐々町志方免、竹下壽雄さん(51)韓国籍・樺太産である。

かつて同氏も炭鉱で働きたその苛酷な強制労働に従事して来ただけに窮れた同胞に対する想ひはひとしおであつた。

五年前から竹下さんの苦

仁侠の人

末岡秀夫氏立ち上る



(写真は末岡秀夫氏)

末岡秀夫氏はこれまで数々の福祉施設に巨額の寄贈をした。貧しいヒルマ前学協力を結成し会長に納

成果の陰に大槻三菱社長の大協力の

その末岡氏が竹下さんのひたむきな涙の同胞愛の熱意に動かされ、遺骨探しに協力することを決めた。

既に末岡秀夫協働会長は金東石木浦市長から日韓両国間の友好増進に大きく寄与されたことに厚く感謝

歩いて扱し回る。竹下さんの遺骨蒐集の執念は挫けなかつた。この苦闘が五年続いた。最初疑眼の目をもつて眺めていた人々もだんだんと竹下さんの誠意とひたむきな熱意に動かされ始めた。この時々よし、俺が手を貸そうと立ち上つたのが末岡兼業社長・末岡秀夫氏であつた。

「誠」こそ人の心を打つ。竹下氏はこれより先き、昨年六月経済視察に韓国へ渡り、木浦市長と面会し、この計画を打ち明け、同市長も同調のため是非努力してほしい、こちらで出来ることはこらでやると励まされた。

金市長は明大卒の親日家で、遺骨も大理石で木浦市の高台墓地公園の入り口に建立することに決り、その除幕式が十一月十五日盛大に行なわれる。それに合せて竹下さんや末岡秀夫会長、菊本善夫、佐々町長ら他多数が遺骨とともに韓国木浦市に渡り新しい慰霊碑に納骨して慰霊することに決まっている。

【末岡秀夫氏談】日本が朝鮮を統治して三十六年、その間劣等視したことは否定出来ない事実と認む。竹下さんから相談を受けた時、同胞を故国の土に安らかに眠らせたいとの情熱に心打たれて協力をした。日本人は異国で歿した同胞の遺骨蒐集には全力を注いでいるが、その想いを朝鮮人にもとるべき機度があつても良いのではないが、楯戸炭鉱には数人の遺体があつたので大槻三菱兼業セメント社長に相談したら早速に快諾を受けるとともに、その反響で細々と献金が集まり、遺骨を運んでいく。金木浦市長も感動し、朝鮮一の慰霊碑を建てると大膽の意を述べ、それに今度ほど感激した事は無い。心より感謝している

◎戦死者に一年不葬の補償

遺族会が日本政府に要求

（新報「東京」）二十七日、
 此致送は、日本帝國時代
 日本に強制徴募せられたる人達
 一人当り一年不葬の補償を要
 求する對日請求機關戦死者遺族会会
 員約五百人が二十七日、上野の
 肉店会合を開き、抗議大会を開

遺族会員は日本政府に要求す

た一人当り三年不葬の補償は少な
 くともと指摘し、日本政府は一人
 当り一年不葬の補償金を支給する
 ように要求した。

一、抗議大会を終つたあとの遺
 族会員は、日本政府が十九年二十
 四年の戦死者を葬る命令を發表する
 上、戦死者の慰霊塔を以て、
 上野の地に建立するよう要求するた

日本總領事館に付了金申
附呈。 警察。

(3)

----- 2 -----